



市民参加の運営技術

東広島市における まちづくりへの住民参加

復建調査設計(株) 藤田章弘

平成17年1月8日(土) 10:30~17:00 徳島大学工業会館 1



酒蔵地区の紹介



- ◆東広島市は、広島県のほぼ中央に位置しており、高速道路や広島空港に近接するなど、立地条件に恵まれた都市です。
- ◆酒蔵地区は、東広島市の玄関口にあたるJR山陽本線西条駅前にあります。

酒蔵地区のまちづくり

- 酒蔵地区では、“酒まつり”には多くの人を訪れるが、常設の観光施設はほとんどなく、普段は訪れる人は少ない。
- 駅に近接する居住地にもなっているので、観光地としてだけでなく居住環境の整備も必要である。



「酒蔵地区まちづくり協議会」
の発足

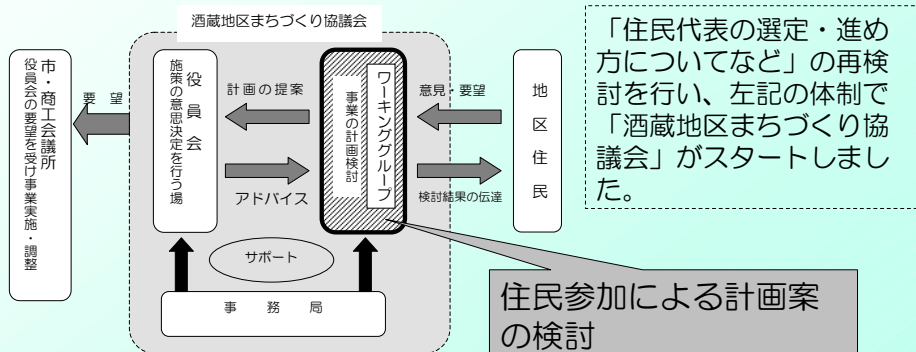
協議会設置の説明会では、「住民代表の選定・進め方についてなど」の質疑が出され、再検討を行うことになった。

H14.7.12中国新聞

5

酒蔵地区まちづくり協議会

- ◆「酒蔵地区まちづくり事業」は、酒蔵地区の歴史的な街並みの景観の整備や保全、生活環境の向上のための市街地整備事業、酒蔵などの観光資源を活かした商業活性化の実施により、酒蔵地区並びに中心市街地の活性化を図ることを目的としている。
- ◆「酒蔵地区まちづくり事業」を実現するためには、地域の住民・事業者・各種団体の方々が主役となり、自分たちが望むまちづくりについて話し合い、行政と連携して具体的な計画づくりを行うことが望ましい。



6



ワーキンググループとは

〔ワーキンググループの役割〕

- ◆具体的な計画内容の立案及び事業の円滑な実施に関して、地区住民の意見の反映は不可欠であり、「地区住民の意見・要望の把握」、「協議会での検討結果の伝達」等「地区住民とのパイプ役」を担う。
- ◆上記の「地区住民の意見・要望」を反映した事業計画案を検討し「役員会」に提案する。

〔ワーキンググループのメンバー構成〕

- ◆地区代表 26名
- ◆地元各種団体 6名（酒蔵地区で活動している団体）

7



ワーキングの活動経緯

第1回
ワーキング
(H14.10)

現状と特性の把握

将来ビジョンの検討

まちの将来像・地区整備方針の検討

事業メニュー（どのような）

事業箇所（どこに）の検討

事業主体（だれが）

事業時期（いつ）の検討

第9回
ワーキング
(H15.6)

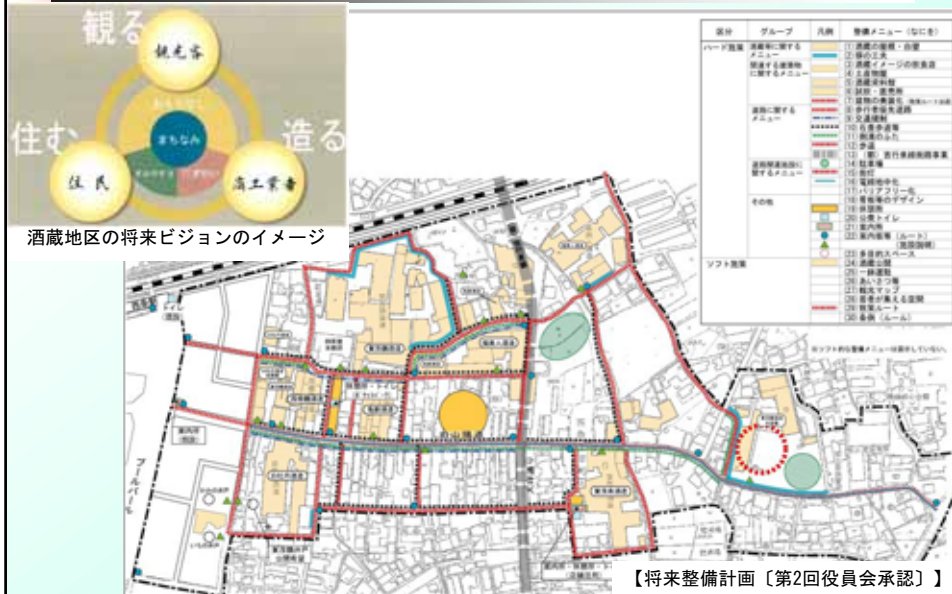
役員会での内容承認

9回のワーキング活動（ワークショップ形式）で整備計画などをとりまとめました。



8

ワーキングの活動経緯



ワーキングの活動経緯



まちの状況を再確認するためのタウンウォッチング。



まちづくり協議会の活動をお知らせする掲示板の設置。地区住民・観光客からの意見を収集するための「ご意見箱」を併設しています。

協議会の活動をお知らせする「まちづくりだより」発行。酒蔵地区の全世帯に配布しています。



ワーキングの活動経緯

第10回
ワーキング
(H15.9)

景観形成の方針検討

全体の整備計画に沿って、具体的に道路の舗装パターンや舗装色、ポケットパーク（小公園）の整備計画の検討を進めました。

↓
道路の舗装パターン・
舗装色の検討

第18回
ワーキング
(H16.6)

↓
ポケットパークの整備計画
の検討

↓
役員会での内容承認

公共施設整備部会
まちなみ景観部会
ソフト施策部会
商業活性化部会

活動
継続中

↓
部会に分かれての検討

11

これからのワーキング活動

これからのワーキング活動は、具体的な検討を進める必要があることから、ワーキンググループの下部組織として4つの部会を設置して活動を継続中です。

公共施設整備部会

道路、ポケットパーク等の事業実施に向けた検討

まちなみ景観部会

景観形成要綱作成に向けた検討

ソフト施策部会

一鉢運動などの具体的な実施に向けての検討

商業活性化部会

商業活性化や都市型観光についての検討

12



ワークショップの運営について

〔運営についての成功点〕

- ◆当初、組織の発足が先送りになるなど、波乱な幕開けであったが、東広島市職員の方が、酒蔵地区の各地区にご説明に伺い、ご理解を得て協議会を発足した。
- ◆また、ワークショップでは、事務局（コンサル）が案を提示するのではなく、白紙の状態からワーキンググループで話し合いを行った。
- ◆市職員もワークショップのファシリテータとして、各班に入り、メンバーと一緒に議論を進めた。（信頼関係が構築されてきた。）

13



ワークショップの運営について

〔運営についての苦労点・今後の改善点〕

- ◆参加者は一般の方であるため、わかりやすい表現とする必要があり、興味をもって参加できるようゲーム的な要素を取り入れる、また小さなことでもよいので、事業の成功例を作って、参加者の参加意欲を継続することが大切である。
- ◆本協議会は、住民主導で計画づくりを行うことを目的としているため、ファシリテータはある程度先導は必要であるが、あくまでも黒子に徹することが必要である。

14